

国立大洲青少年交流の家開所 50 周年記念 教育長祝辞

令和 6 年 11 月 23 日（土）

国立大洲青少年交流の家

このたび、国立大洲青少年交流の家が開所 50 周年の大きな節目を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

貴所におかれましては、昭和 49 年に開所されて以来、青少年及び青少年教育関係者に対する教育的支援を行うとともに、ボランティア活動や就労体験・交流体験を中心とした教育プログラムを提供されるなど、青少年教育における体験活動等の拠点として多大な貢献をいただいております。深く敬意と感謝の意を表します。

児童生徒の「集団宿泊訓練」の場として、清流肱川でのカヌー体験や野外炊飯、オリエンテーリングなど大洲の豊かな自然を生かした様々な活動は、仲間とのかけがえのない思い出づくりになるのはもちろんのこと、子どもたちの自ら考え行動し、社会を生き抜く力の素地を育み、よりよい成長につながっているものと確信しております。

また、コロナ禍を経て、人々の生活スタイルも大きく変化し、デジタル機器がより身近な存在となるなど、子どもたちの体験活動の減少傾向がより強く懸念される中、親子でカヌーに挑戦し、肱川の自然に親しむ「親子でアウトドア」、クライミングや放水体験、モルックなど様々な体験活動を行う「体験フェスティバル in 交流の家」などの「体験の風をおこそう」運動を展開し、青少年の健全育成に精力的に取り組んでおられますことに対し、心より敬意を表します。

自然体験活動や社会体験活動、文化芸術活動等の様々な体験活動を通じて、自己肯定感や協調性、幸福感など、ウェルビーイングの向上を図ることは、今を生きる、そして未来を担う子どもたちにとって大変重要なことであり、県教育委員会におきましても、教育基本方針に「未来を切り拓くたくましい子どもたちの育成」を掲げ、豊かな自然

や産業等を生かした様々な体験活動や、郷土愛を養う教育を推進するとともに、自他の生命を大切に^{えがお}する心や規範意識などを養い、愛顔あふれる子どもたちの育成を図っているところです。

貴所におかれましては、今後とも様々な体験活動の充実に御尽力いただき、青少年の体験活動を支える教育拠点として、子どもたちの健全育成にお力添え賜りますようお願い申し上げます。

結びに国立大洲青少年交流の家の更なる御発展と、関係各位の一層の御活躍を祈念致しまして、お祝いのことばといたします。